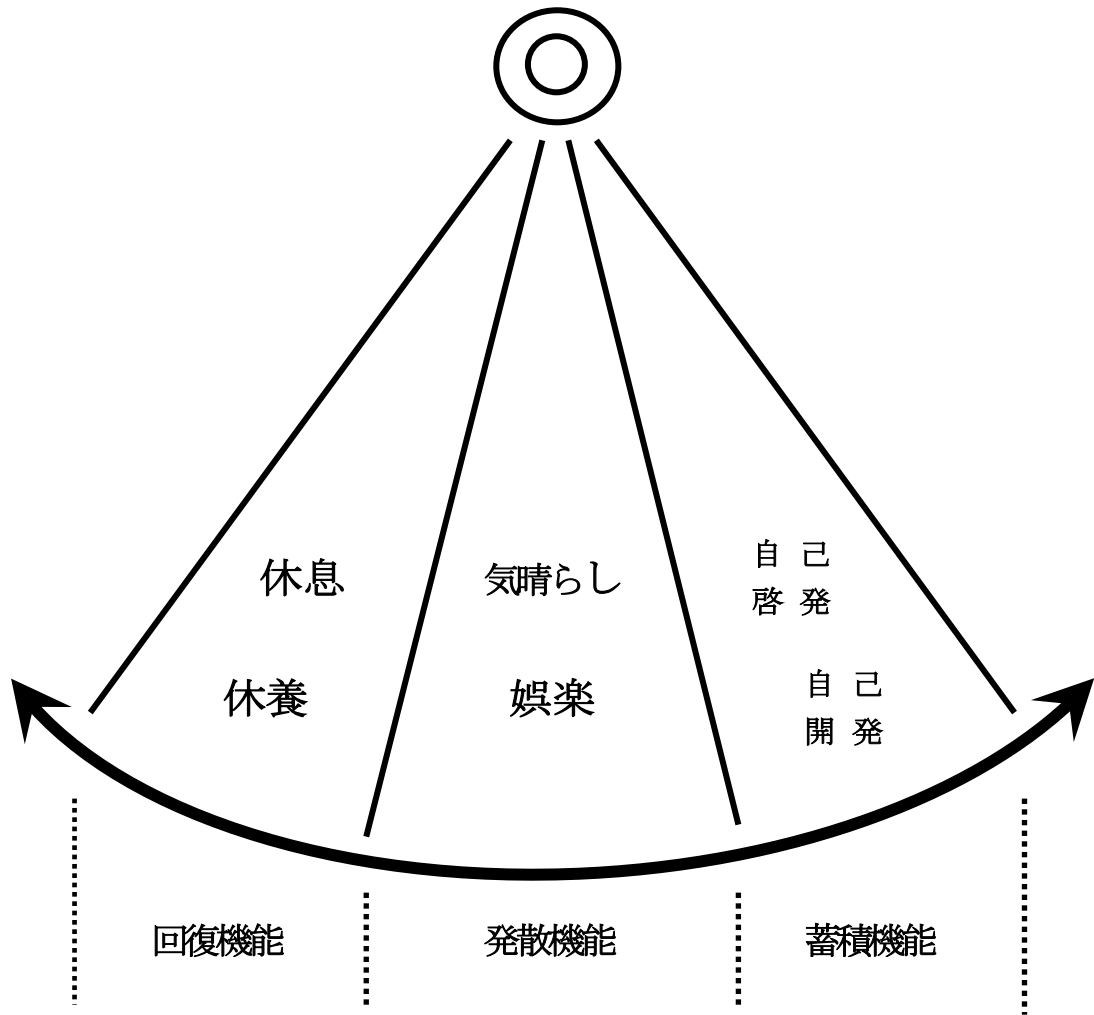
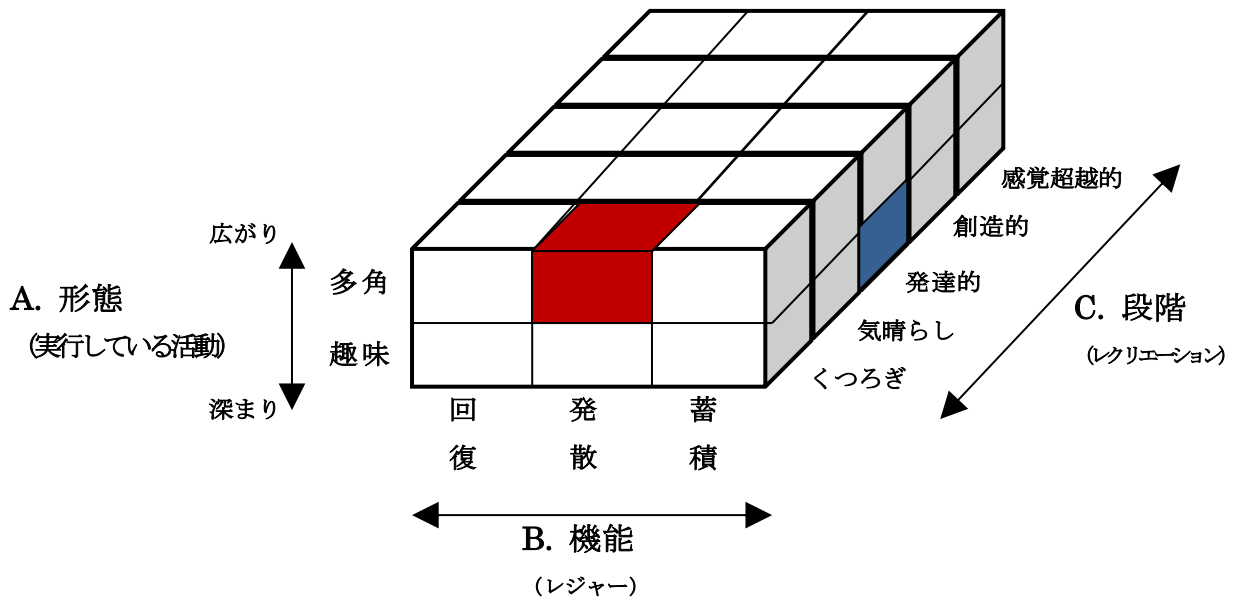


余暇の三機能（はたらき；振子とその支点）



※余暇の三機能のカップリング化（組合せ）とカクテル化（融合・混合）  
※振子のように機能の左右への拡がりと移動によるバランス

レジャー・レクリエーション活動のキュービカルマトリックス (A、B、C)  
 ～ 活動の「見える化」と「類型化」の理解に向けて～



= 多角的嗜好形態、発散型機能、くつろぎ

= 趣味化傾向形態、蓄積型機能、創造的レクリエーション

A = 2つの実行している活動の形態

B = 3つのレジャーの機能

C = 5つのレクリエーションの段階

参考：

上記 C - 2 の 1 の図中の；

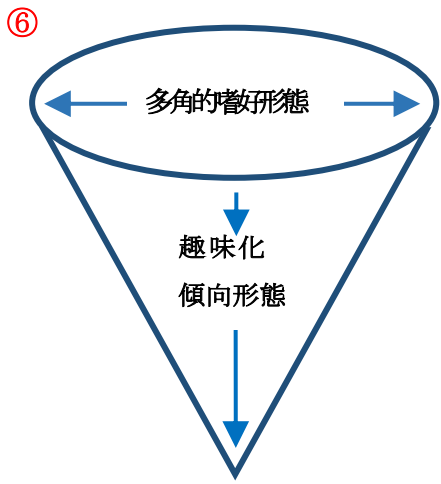
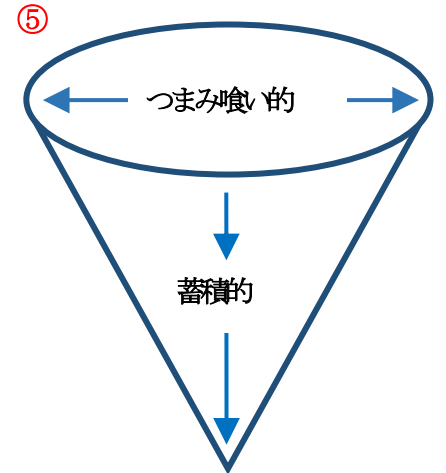
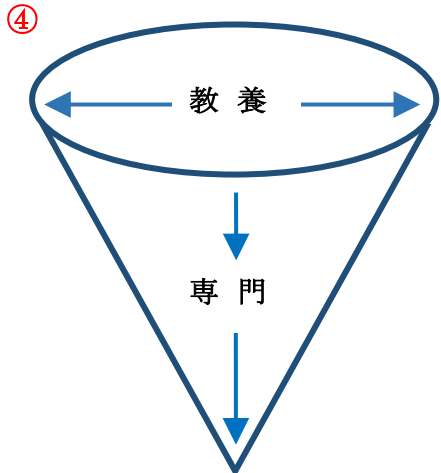
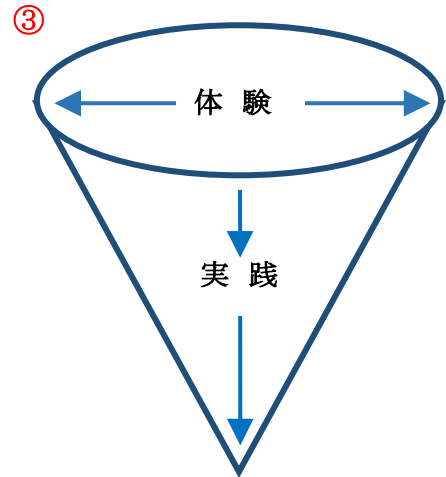
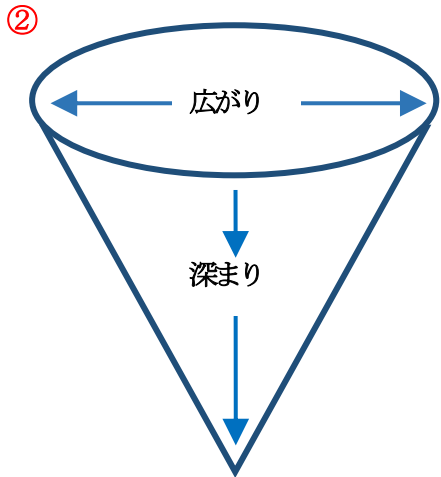
発達的是、発達のレクリエーションの意味

創造的是、創造的レクリエーションの意味

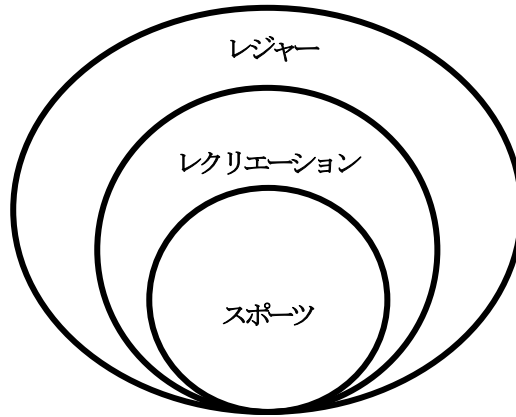
感覚超越的是、感覚超越的レクリエーションの意味

多角は、多角的嗜好形態；趣味は、趣味化傾向形態の意味

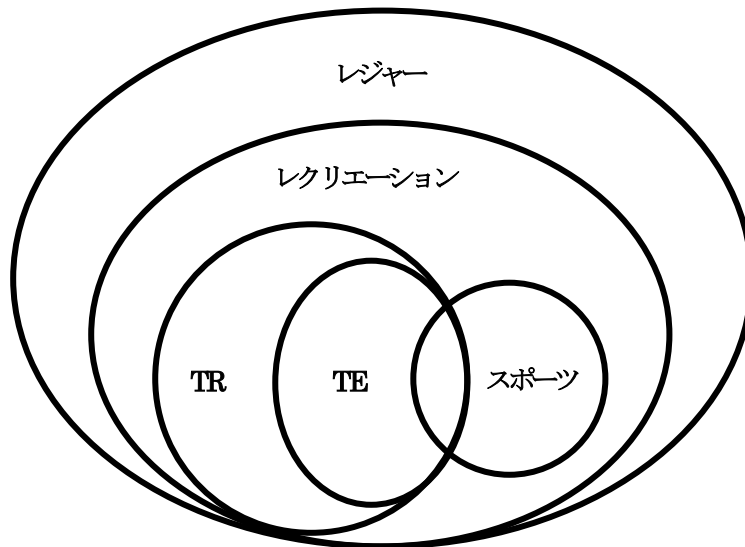
### 多角的嗜好形態と趣味化傾向形態の複眼的思考



レジャー・レクリエーション・スポーツの概念の位置関係



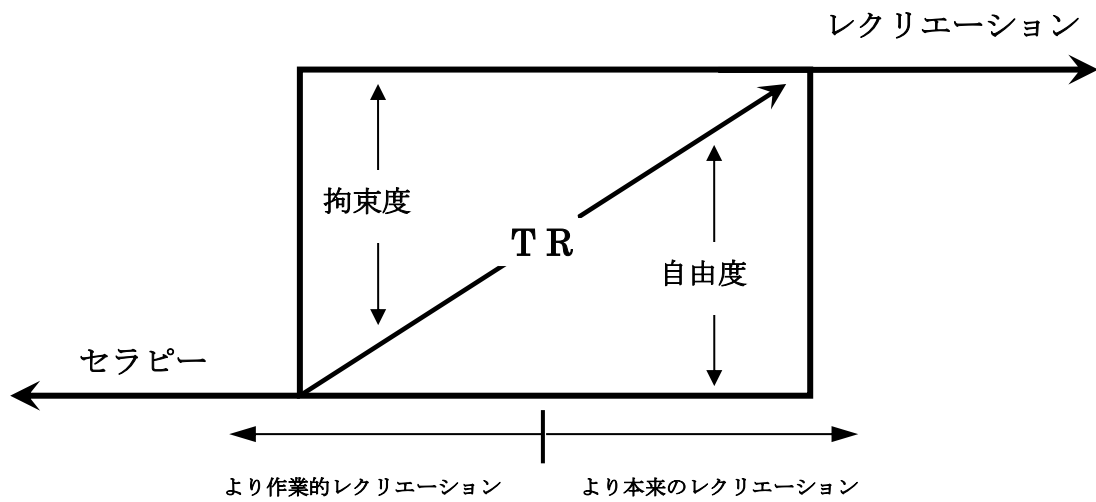
レクリエーションの中に概念化して捉えたセラエクサ®



TR=セラピューティックレクリエーション

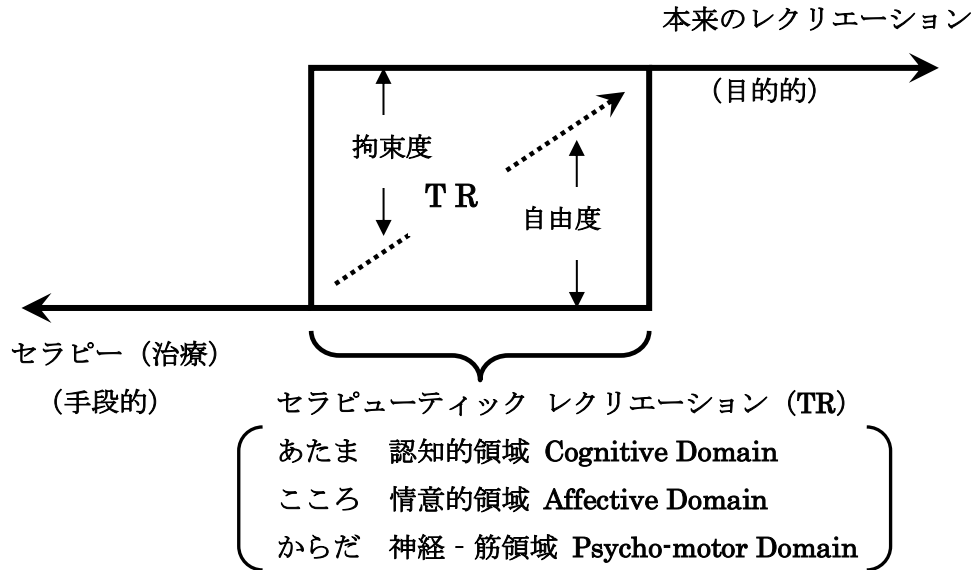
TE=セラエクサ® (セラピューティックエクササイズ)

セラピューティックレクリエーション (TR) を中心とした  
連続性とそれらの概念の範疇



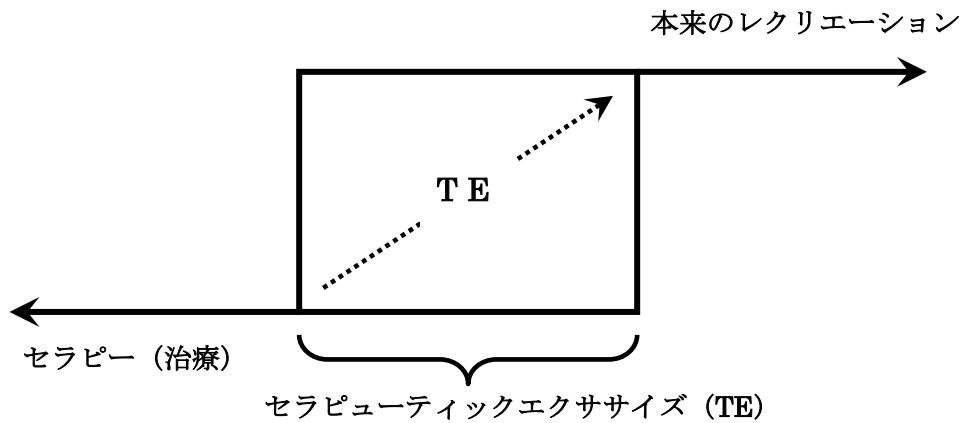
TR=Therapeutic Recreation

セラピーとレクリエーションの間に位置する TR の考え方



TR=Therapeutic Recreation

セラエクサ®の位置と領域

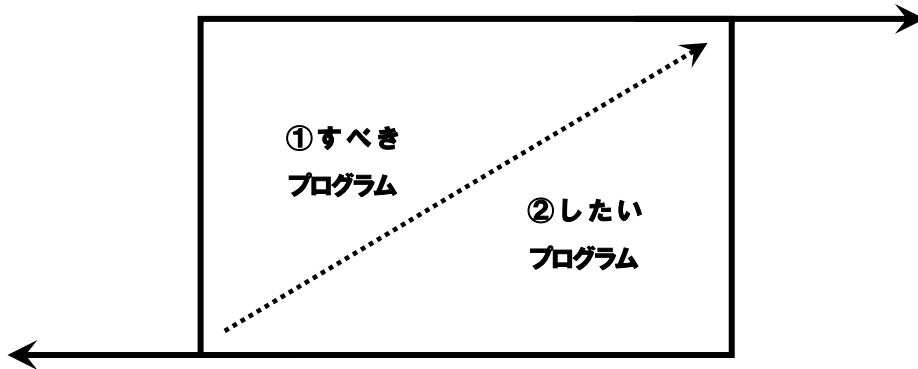


セラエクサ®は、以下の①②③を扱うが、①が中心的な領域

- ① 神経-筋的領域 (Psycho-motor Domain)
- ② 情意的領域 (Affective Domain)
- ③ 認知的領域 (Cognitive Domain)

TE=Therapeutic Exercise®

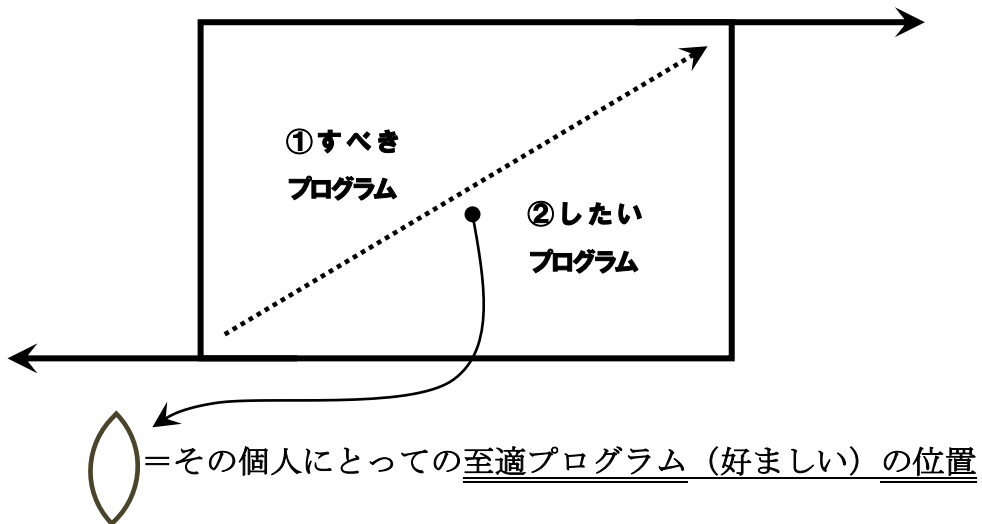
## セラエクス®プログラム



①すべきプログラム＝処方型プログラム（Prescription Typed Program）

②したいプログラム＝カフェテリア型プログラム（Cafeteria Typed Program）

## 至適プログラムの位置

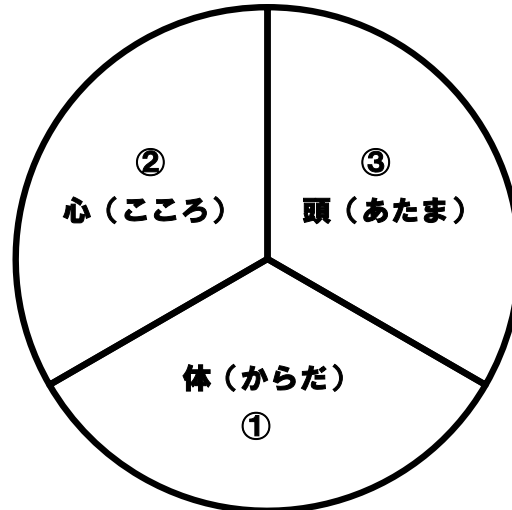


①処方的プログラムと②レクリエーション的プログラムの並列・共存

〔①は、課題（問題）に対応するための手段  
②は、楽しさ・おもしろさをもたらす。それ自体の活動が目的〕

楽しさ・おもしろさは、その事象（活動や状態）を意識を持って長続きさせていくための基本  
（ある活動が手段化される時、その楽しさ・おもしろさが削られていく。）

レクリエーション領域（からだ、こころ、あたま）の整理と  
その領域の中にあるセラエクス®を捉える



①神経-筋的領域（Psycho-motor Domain）

※体を使うレクリエーションとその領域の中にあるセラエクス®

②情意的領域（Affective Domain）

※心を通わせるレクリエーションとその領域の中にあるセラエクス®

③認知的領域（Cognitive Domain）

※頭を働かせるレクリエーションとその領域の中にあるセラエクス®

参考： この図のレクリエーション領域（からだ、こころ、あたま）を  
レジャー・レクリエーション活動のキュービカルマトリックス  
（A 形態、B 機能、C 段階）に重ねることで、活動・状態  
を、さらに「見える化」「類型化」することができる。